

※下記の各取り組みは、対象ホテルの閉館に伴い終了しております。(2020年9月末にて)

ECO LIFE PROJECT

地球環境への配慮、そして真にくつろげるホテルライフを
— caring for the global environment and offering true relaxation —

名古屋城の緑を望むこの地でお客様と共に歩んできたナゴヤキャスルグループ
自然と共生するホテルとしていま私たちにできることは何かを考え、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています
次の世紀もお客様に信頼され共に歩んでいけるホテルであるために—

株式会社 ナゴヤキャスル



環境方針

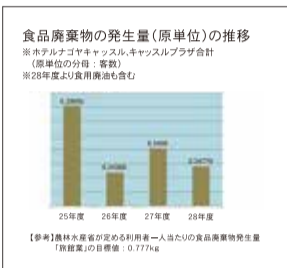
株式会社ナゴヤキャスルは、地域社会に支えられた都市型リゾートホテルとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であるという認識に立ち、お客様にこころ温まるサービスとやすらぎの空間を提供することを第一に、あらゆる面で環境に十分に配慮した「環境に優しいホテル」をめざします。



廃棄物の削減

生ごみの循環型リサイクル

ホテルでは食品ロスを極力出さないよう料理提供に努めていますが、それでも年間約250tもの食品残渣が発生します(ホテルナゴヤキャスル、キャスルプラザ 2ホテルの合計)。私たちはそれらをごみではなく重要な資源と考え、分別を徹底し、100%リサイクルする取り組みを行っています。



環境循環型野菜「おかえりやさい」

リサイクルされた堆肥は地元の契約農家での野菜作りに役立てられ、季節によってはその野菜をホテルでも提供しています。その野菜は「循環する」という意味合いから、「おかえりやさい」と名付けられ、一部のスーパー等でも販売されています。



パンの飼料化リサイクル

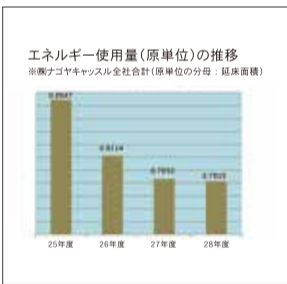
ホテルで多く排出される食品残渣の中には、宴会場やレストランで食べ残しとなったパン類があります。このパン類はとても栄養価の高い飼料、つまり豚の餌にリサイクルすることができるため、ホテルナゴヤキャスルでは生ごみとパンとを分別し飼料にするリサイクルを2014年から始めました。



省エネ・省資源

LED照明の導入

ホテル館内のあらゆる照明は順次LEDに切り替えています。熱の発生が少ないことで空調効率の向上にもつながります。館内設備だけでなく、ホテルを華やかに彩るクリスマスツリーや屋外照明にも、毎年LEDが使われています。



客室のグリーンプログラム

ホテルの客室では毎日大量のリネン類を取り換え洗濯しています。その洗濯によって排出されるCO2や水量を少しでも減らすため、連泊されるお客様がベッドリネンの交換を希望されるかどうかを、ベッドに専用カードを置いていただくことにより意志表示していただき、リネンの交換回数を減らす取り組みを行っています。



ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省主催のライトダウンキャンペーン、世界自然保護基金(WWF)主催のアース・アワーなどでは、ホテルの壁面照明や屋上のネオンサインを消灯し、地球温暖化防止のイベントに参加しています。



エコカー&エコドライブ

ホテルが所有する営業車はすべて低排出ガスの認定を受けていますが、更なるCO2排出削減のためハイブリッドカーへの切り替えを順次行っています。また運転時にはアイドリングストップや早めのアクセルオフなどエコドライブを心がけています。



地下水活用システム

ホテルナゴヤキャスルでは、名古屋市の上下水道だけでなく、貴重な水資源である名古屋の地下水を有効活用しています。災害発生時には、システムを自家発電に切り替えることで、近隣住民の非常用生活用水としての役割を担うことができます。



地域社会とともに

地域清掃活動「クリーンキャンペーン」

ホテルでは月に一度、早朝に周辺の清掃活動を行っています。当日出勤しているほとんどの従業員、100名近くが毎回参加します。また自治体が主催する地域の清掃活動にも積極的に参加し、地域の方々と交流を図っています。



ペットボトルキャップ運動

ホテルのバックヤードでは、ECOソムリエが中心となり、ペットボトルのキャップを回収しています。2009年からの活動で回収数は200万個を超えました。キャップをごみとして焼却しないことでCO2削減につながり、再資源化で得た売却益が途上国の子どもたちへのワクチン寄付につながります。



駐車場緑化—ECO Parking—

2011年にホテルナゴヤキャスルの路面駐車場(第3駐車場・1,441㎡)を、天然芝で緑化しました。アスファルトから天然芝にすることで、蒸散作用により地面の表面温度は10~12℃、体感温度でも2~3℃低下すると言われており、地球温暖化の一因であるヒートアイランド現象を緩和する効果があります。



「海上の森」企業連携プロジェクト

瀬戸市の「海上の森」は、人と自然が共生する貴重な里山のひとつ。愛知万博の「自然の叡智」という理念を継承するシンボリック的存在です。この地元の豊かな自然を後世に引き継ぐお手伝いをしたいと考え、2009年に企業連携を締結、会社をあげて間伐活動に取り組みました。この活動は2016年まで7年間継続され、従業員延べ266人が参加。間伐した森は日光が差し込む健康な森として再生し、私たちにとっても思い出深い活動となりました。



電気自動車の充電ステーション

ホテルナゴヤキャスルの地下駐車場には、電気自動車の普通充電器を2基設置しています。NCS充電インフラネットワークサービスを利用し充電カード1枚でご利用いただける利便性の高いシステムです。電気自動車の普及の一助となればと考えています。



環境配慮型天然水「ロハスウォーター」

奥長良川にある天然水の製造会社と協力し製品化したホテルのPB商品。売上の一部が森林組合に寄付されることで、1本につき1kgのCO2吸収に貢献できます。ホテル内に専用自販機も設置しています。



キャンドルナイト

ホテルの披露宴で使用された後、まだ使えるにもかかわらず大量に廃棄されてしまうキャンドルを再利用したイベント。お客様に幻想的な空間を楽しんでいただきながら、地球環境について身近に考えてもらいたいという願いが込められています。なお、この企画は愛知県主催の環境プロジェクト「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」に応募した大学生が発案し、ホテルと学生が協働して進めた企画です。



ECOソムリエ

ホテルの各セクションにいるECOの知識を持った環境サポーター。ナゴヤキャスルグループでは彼らを「ECOソムリエ」と呼んでいます。彼らが各セクションのISOやリサイクル活動などの指揮を執り、全スタッフ一丸となって「環境にやさしいホテル」を目指し活動しています。



全社的な環境取り組みが評価され、2つの環境賞を受賞いたしました



2011年2月
愛知環境賞
優秀賞 受賞



2011年2月
第4回
名古屋市エコ事業所
優秀賞 受賞

